

朗読検定

2012年2月期 受検要項

実技試験と筆記試験 各 50 点満点のそれぞれ 40 点以上の獲得で合格とする

【4級】

4級の目的 筆記 ※50 点満点

- 発声方法の基礎知識を身につけているか
- 朗読に関する初歩的な知識を身につけているか（文学作品等）

4級の目的 実技 ※50 点満点

- 発声が出来ているか（ロングトーン12秒）
- 明瞭に、正確に読むことが出来ているか（読み間違い、滑舌）
- 早口言葉、滑舌課題が明瞭に読めているか
- 作品朗読の“語り”部分を情景描写や間の取り方に工夫して正確に読めているか

—実技試験内容と採点項目—

①発声課題（15点）

- ◆時間（規定時間をクリア出来ているか） 5点
- ◆声量（しっかりと発声出来ているか） 5点
- ◆発音安定性（最後まで発音が安定しているか） 5点

②滑舌課題 早口言葉（15点）

- ◆時間（規定時間内に読み終わられているか） 5点
- ◆正確さ・滑舌（読み間違いなく、明瞭で、正しいアクセントか） 5点
- ◆リズム（苦手な部分が遅くなっていないか） 5点

③作品朗読 「吾輩は猫である」夏目漱石より “語り”部分（20点）

- ◆情景描写（情景描写を伝える読み方の工夫が出来ているか） 5点
- ◆読む速度と間の取り方（聴きやすい速度と間が取れているか） 5点
- ◆正確さ（読み間違いなく、正しいアクセントで読めているか） 5点
- ◆滑舌（明瞭に発音出来ているか） 5点

【3級】

3級の目的 筆記 ※50 点満点

- アクセントの初歩的な知識を身につけているか
- 朗読に関する初歩的な知識を身につけているか（文学作品等）

3級の目的 実技 ※50 点満点

- 明瞭に、正確に読むことが出来ているか（読み間違い、滑舌）
- 早口言葉、滑舌課題が明瞭に読めているか（外郎売りを一部抜粋）
- 作品朗読の“語り”部分と台詞部分の読み分けが出来ているか（情景描写や間の取り方に工夫して正確に読めているか）
- 正しいアクセントで読めているか
- プロミネンスを理解しているか

—実技試験内容と採点項目—

①滑舌課題 「外郎売り」より （15点）

- ◆時間（規定時間内に読み終わっているか） 5点
- ◆正確さ・滑舌（読み間違いなく、明瞭で、正しいアクセントか） 5点
- ◆リズム（苦手な部分が遅くなっていないか） 5点

②プロミネンス課題 （15点）

- ◆表現幅（強調部分で差を出せているか） 5点
- ◆正確さ・滑舌（読み間違いなく、明瞭に読めているか） 5点
- ◆アクセント（正しいアクセントで読めているか） 5点

③作品朗読 「やまなし」宮沢賢治より （20点）

- ◆情景描写（情景描写を伝える読み方の工夫が出来ているか） 4点
- ◆読む速度と間の取り方（聞きやすい速度と間が取れているか） 4点
- ◆正確さ（読み間違いなく、正しいアクセントで読めているか） 4点
- ◆滑舌（明瞭に発音出来ているか） 4点
- ◆読み分け（語りと台詞の読み分けが聞き手に伝わるか） 4点

【準2級】

準2級の目的 A検定筆記 ※50点満点

- 単語や文章にアクセント記号を付けることができるか
- 同音異義語のアクセントの違いを理解しているか
- 鼻濁音や無声化の知識を身につけているか
- 課題作品の表現計画を記述宣言する（※実技試験連動）

準2級の目的 B検定筆記 ※50点満点

- 課題作品の表現計画を記述宣言する（※実技試験連動）
- 朗読をはじめた理由を文章化すること（400字）

準2級の目的 A検定実技 B検定実技

- 明瞭に、正確に読むことが出来ているか
- 正確なアクセントで読めているか
- 聴きやすい速度で読んでいるか
- 登場人物が複数いる場合の台詞の読み分けができているか
- 作品朗読の“語り”部分と台詞部分の読み分けが出来ているか
- プロミネンスを理解しているか
- 鼻濁音や無声化がしっかりできているか
- 表現計画で宣言した通りの表現ができているか

—実技試験内容と採点項目 A検定—

①作品課題 「ごん狐」新美南吉より（30点）

- | | |
|-----------------------------|----|
| ◆正確さ（読み間違いなく読めているか） | 5点 |
| ◆滑舌（明瞭に読めているか） | 5点 |
| ◆間・読む速度（聴きやすさの工夫ができているか） | 5点 |
| ◆アクセント（正確なアクセントで読めているか） | 5点 |
| ◆鼻濁音・無声化（しっかりできているか） | 5点 |
| ◆情景描写・台詞（読み分けや表現の工夫ができているか） | 5点 |

②プロミネンス課題（20点）

- | | |
|----------------------------|----|
| ◆表現幅（指定通りに強調部分で差を出せているか） | 5点 |
| ◆正確さ・滑舌（明瞭に、読み間違いなく読めているか） | 5点 |
| ◆無声化・鼻濁音（しっかり出来ているか） | 5点 |
| ◆アクセント（正確なアクセントで読めているか） | 5点 |

—実技試験内容と採点項目 B 検定—

①作品課題 「ごん狐」新美南吉より (30点)

- ◆正確さ (読み間違いなく読めているか) 5点
- ◆滑舌 (明瞭に読めているか) 5点
- ◆間・読む速度 (聞きやすさの工夫ができているか) 5点
- ◆アクセント (正確なアクセントで読めているか) 5点
- ◆鼻濁音・無声化 (しっかりできているか) 5点
- ◆情景描写・台詞 (読み分けや表現の工夫ができているか) 5点

②プロミネンス課題 (20点)

- ◆表現幅 (指定通りに強調部分で差を出せているか) 5点
- ◆正確さ・滑舌 (明瞭に、読み間違いなく読めているか) 5点
- ◆無声化・鼻濁音 (しっかり出来ているか) 5点
- ◆アクセント (正確なアクセントで読めているか) 5点

【2級】 ※実技課題は準2級と共通

2級の目的 A検定筆記

- ・朗読活動を通じて実現したい事を文章化すること (400字)
- ・課題作品の表現計画を記述宣言する (※実技試験連動)

2級の目的 B検定筆記

- ・聴き手に伝わる朗読に関する考えを文章化すること (400字)
- ・課題作品の表現計画を記述宣言する (※実技試験連動)

2級の目的 A検定 および B検定実技 **※準2級と共通課題**

- ・対面で読む場合でも、十分な声量で読むことができるか
- ・準2級で問われる課題を対面でもクリアできるか